

らんぞん RANZAN



駅西口「らんまるパーク」4月1日 オープン

令和6年
第1回定例会

傍聴者
54人

- ◆ 特集 令和6年度予算(予算特別委員会) P 2～ 5
- ◆ 第1回定例会報告 主な議案と審議結果 P 6～ 8
- ◆ 視察受入れ/政務活動費 P 9
- ◆ 一般質問10人が町政を問う P10～17
- ◆ 常任委員会報告 P18
- ◆ 議会報告会・意見交換会の開催内容 P19
- ◆ 議会報告会案内/編集後記 P20

議員が編集した手づくり議会だよりです。こちらからご覧になれます。⇒



財政状況ポイント

歳入 自主財源 34億1054万円

前年比0.6%減

歳入 町債発行 1億2120万円

前年比52.2%減

基金 取崩額 3億1177万円

6年度末見込 13億1181万円

起債残高 55億 462万円

前年比8.6%減 (6年度末予測)

令和6年度予算審議は、予算特別委員会に付託された。委員長に狛守勝義議員、副委員長に宮本大裕議員を選出し、4日間にわたる慎重な審査を経て原案通り可決された。なお、渋谷登美子議員より一般会計予算に対し、部落解放同盟嵐山支部補助金、嵐山町立小中学校建設事業基本設計業務委託料、予備費を減額し、Zoomライセンス11課局分、学校トイレ23基分を洋式化する修正案が提出され、賛成者少数により否決された。



消防・防災

- 消防団員準中型免許取得費用補助** 10万円
- 道路交通法の一部改正で、消防車両を運転できない状態になっている嵐山消防団員に対して2分1を補助するもの。条件は、嵐山消防団員で普通自動車免許が5トン未満の者。
- 防災訓練事業 防災キャンプ** 20万円
- 防災キャンプの内容はアウトドア体験を通じて災害発生時の避難生活を疑似体験するもの。場所は学校橋キャンプ場の一画を使用する。

財政

- 公債費** 6億6353万円
- 前年比6・3%減
- 公債費負担比率は13・4%である。令和5年度は14・8%だったので、1・4%改善している。
- 公債費の内容は長期債の元利償還金のうち、建設に充当した普通債分の償還が、元金償還金3億394万円、利子償還金1615万円、災害復旧費の償還が元金償還金431万円、利子償還金6万円、臨時財政対策債等その他のものが、元金償還金3億3343万円、利子償還金524万円となっている。また、一時借入金の子として借入限度額5億円の1カ月分の37万円である。

教育委員会

- 嵐山町立小中学校建設事業基本設計業務** 2059万円
- 契約概要と期間は新しい学校の基本設計、令和6・7年度の2カ年継続費で実施予定。実際の業務委託契約期間は12カ月程度を想定している。
- 学校給食費補助事業** 2065万円
- 第一子半額の理由は第一子までの補助をすることで子育て世代全般へ支援をするということ。
- 社会科副読本デジタル化業務委託** 317万円
- 内容と活用は小学3・4年生が使用する教材をデータ化してタブレットで読めるようにする。書き込みや写真の拡大などもでき、ICT教育の推進にもなる。

観光施設整備

- 嵐山渓谷観光多目的広場造成工事費** 2000万円
- 内容と場所はラベンダー園の県道を挟んだ駐車場を拡張し、駐車場及び多目的の広場として活用するもの。令和6年度は、新たな集客イベントとして軽トラ市を開催予定。(関連議案P6)

経済活動支援

- 企業誘致事業** 2772万円
- Q** 企業奨励金交付の状況は
- A** 花見台工業団地内で拡張した企業一社に対して交付。
- 観光協会補助事業** 1475万円
- Q** 金額の積算内容は
- A** 人件費、ラベンダー園の賃借料、ラベンダー園の維持管理、事務所の賃借料などである。

人権

- 人権対策推進事業** 163万円
- Q** 比企郡市人権フェスティバルの内容、場所は
- A** 比企管内8つの自治体を持ち回りで実施、令和6年度は町が主幹事で会場は又エックになる。内容は、人権に関する講演、各自治体団体等の舞台発表、展示による普及啓発である。

自然・環境

- トラスト地管理事業** 51万円
- Q** 町有地の規模、主な事業内容は
- A** 全体面積13万5038㎡の内、町有地分は3万8249㎡、事業内容は、町有地分1万2000㎡の下草刈りや枯損木等の処理である。
- 地球温暖化防止設備設置補助金** 200万円
- Q** 設置設備と補助上限額は
- A** 住宅用太陽光発電システムに加え、電気自動車等充給電設備（V2H）が対象。設置に要する経費の2分の1以内で上限額5万円である。

農業振興

- 多面的機能支援事業** 598万円
- Q** 金額の積算内容は
- A** 農地維持支払交付金（草刈り・泥上げ等）と資源向上支払交付金（施設の軽微な補修及び農村環境保全活動）の2つ交付金で構成。活動組織は8組織で、補助率は国50%、県25%、町25%である。

福祉・健康・子育て支援

- こども医療費給付事業** 6169万円
- Q** 増額の要因は
- A** 令和4年10月から実施された県内現物支給がある。また、昨年5月から新型コロナウイルス感染症が5類になり、人の移動が多くなり新型コロナウイルスやインフルエンザの感染児童が多くなったことが要因。
- 子ども家庭支援センター運営事業** 1113万円
- Q** 前年比25%減の理由は
- A** 令和6年度は、センターに主席支援員を配置しなかったため、会計年度職員報酬が減額になったのが主な理由である。
- 高齢者補聴器購入費助成事業** 30万円
- Q** 内容は
- A** キャンセル待ちの方や定員に達した後も問い合わせもあり、前年度より5人増の15人分を計上した。



昨年の比企郡市人権フェスティバルの様子



乳児検診=R6.4.4

令和6年度当初予算（一般会計）討論

賛 成（吉本 秀二 議員）

プライマリーバランスが5億円超の黒字で、地方債の当該年度末現在高見込み額が令和元年度確定値比12億円超縮小する等、学校再編、川島産業団地、駅西整備事業等大事業に取組んでいる中、健全財政を見据えた堅実予算であることを高く評価します。歳入では、ふるさと納税寄付金による大きな税収増、企業誘致事業の成果としての固定資産税の増が評価されます。歳出では、健康いきいきプラン計画策定事業の自前実施、嵐山溪谷観光多目的広場整備事業では、単なる観光駐車場ではなく、賑わいの場、稼げる場として踏み込んだ事業になっていること、更には、町民福祉向上の質を維持しながら、子育て支援としての学校給食費支援を第一子までに拡充した事業等、高く評価するものです。

反 対（渋谷登美子 議員）

令和6年度予算を、3つの視点から論じます。

- 1 令和6年は、佐久間町政最後の年。岩澤町政からの継続課題が、花見台工業団地拡張、川島地区工業団地準備、千年の苑ラベンダー園、駅西口整理、学校再編。その中で、学校給食の第1子半額補助等評価します。
- 2 学校再編に関わらず、子どもはトイレを利用します。統合するのにはトイレ改修は無駄意識が働きます。子どもにとってやさしさを要請します。
- 3 令和6年度、国立女性教育会館の嵐山町からの移転が課題です。嵐山町にとって男女共同参画を進める上で、重要な拠点であることを今、日本で女性の人権侵害の知見を持ち、国と協議し、予算を執行していただきたい。

反 対（川口 浩史 議員）

学校統合により、新しいきれいな学校が建設されても、1学級35人は今までより確実に教師の目が行き届かなくなる。加えて、小学校13人、中学校3人もの教師が少なくなるわけで、さらに目が行き届かなくなる。豊かな情操を持って育ってもらうには、きめ細やかな教師の指導が大事なわけである。それができなくなる。考える。また、ラベンダー園は補助金の返還義務が終了したのちは、速やかに廃止すべきである。

賛 成（畠山 美幸 議員）

- 1 能登半島災害地へ町職員2名を派遣した。その体験をもとにキャンプ防災訓練をする。
- 2 ラベンダー園開催が梅雨になるが、観光バスと連携し予定どおり集客が見込めること。駐車場の拡張で多目的広場としての軽トラ市の開催で稼ぐ仕組みづくり。
- 3 ゼロカーボンシティ宣言を表明して、脱炭素の取り組みとして太陽光パネル、自動車充電給電システムに補助を3年間継続される。
- 4 学校統合準備委員会が立ち上がり、いよいよ基本計画が進んで行く。全国的に教員が不足している中、また、GIGAスクールも始まって4年が経ちますが、すべてにおいて学校の環境を整えていくこと。
- 5 第一子から学校給食費半額になり、一人っ子の世帯にも公平になる。
- 6 嵐丸広場、レピにて就学前のお子さんの一時（半日、一日）保育が始まります。

可決

特別会計	国民健康保険	18億6780万円
	後期高齢者医療	3億2420万円
	介護保険	15億2600万円
水道事業		7億6859万円
下水道事業		7億4457万円

国民健康保険

Q 特定健康診査等事業費について。

A 令和5年度の予算計上時で業者委託を考えていたが、事業を実施する健康いきいき課が業者委託をせず、令和6年度も同様に町独自で実施するため減額となった。

Q 医療費が令和6年度は昨年より6000万円減額の見込み理由は。

A 令和5年度の14億1360万円については、今回の補正額1億円が含まれている。当初予算額と比較すると、13億1360万円から13億5140万円となり、約4000万円ほどの増額を見込んでいる。



後期高齢者医療

Q 後期高齢者医療保険料について。

A 今までは、県報告資料の年度末時点での納付方法者数調べの割合で計算していたが、予算額と決算額に差があるため、より決算額に近い数値になる県報告資料の調定額から年間平均割合を算出した。これを比較すると、特別徴収は約8割から7割前年比マイナス、普通徴収は約2割から3割前年比プラスとなった。

令和6・7年度 保険料が上がる

令和4・5年度	
均等割	所得割
44,170円	8.38%



令和6・7年度	
均等割	所得割
45,930円	9.03%

介護保険

Q 介護認定者の状況で要介護1、要介護2が増えているが、担当課として予算編成上、留意した点について。

A コロナ禍で外出や活動の機会が減り、機能低下をきたしていると考えられ、令和5年度より、嵐山カントリウオーキング講習会、介護予防生活支援サービスク腔機能の向上を図ると共に、訪問型サービスCなど新しい事業を取り入れた。また「生活支援サポーター」を委託先の社会福祉協議会と協力して養成し、第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基

本方針である、「健康で互いに支え合う活き活きとしたまちづくり」を推進する。

水道事業

Q 施設の浸水対策工事の予算について

A 令和元年の台風19号の被害により、第1水源・第2水源が浸水、第3水源も大きな影響を受け、3力月取水できなかったため、国から浸水対策の補助金を受け、井戸ごと高くする工事を行う

下水道事業

Q 市野川流域負担金が増になると見た理由は

A 令和4年度実績の有収水量を基準として令和4年・5年4月～11月分の比較による伸びを乗じて積算。水道検針分は0.2%減、中水事業所分は7.1%増となっており、この申告事業所4社の有収水量の伸びを見込んで増とした。

令和6年 第1回定例会

(2月26日～3月19日)

介護保険料改定

一時保育事業 町で実施

ひとり親家庭への臨時特別給付金

主な議案

議案第12号

令和5年度嵐山町
一般会計補正予算
(第8号)

歳入歳出それぞれ576
8万円追加して、総額を
76億8747万円とする
もの

主な歳入

地方交付税

5129万円

集約都市形成支援事業補
助金 300万円

児童福祉費寄附金

1000万円

主な歳出

積立金 5795万円

ひとり親家庭臨時特別給
付金 1005万円

・児童扶養手当受給世帯
7万円(111世帯)、
第2子以降4万円(57人
子どものための教育・保
育給付事業

1041万円

議案第2号

一時保育事業手
数条例の制定

町で一時保育事業を実施
することに伴うもの。

Q 手数料の額は

A 昼食なしで1日
1000円、半日
500円。

Q 保育する場所は

A 子育て広場「レピ」
と嵐丸ひろば。

議案第5号

事務手数料条例の
一部改正

戸籍法の一部が改正され
たことに伴うもの。

Q 内容は

A 広域での発行と電子
証明書の発行が可能
となる。

議案第6号

健康増進セン
ター設置及び管理
条例の一部改正

こども家庭センターの設
置に伴うもの。

議案第7号

介護保険条例の一
部改正

介護保険法の規定に基づ
き介護保険料率を改定す
るため。

これまでの9段階から13
段階となり、低所得者は
引き下げとなる。

Q 他の自治体との比較
では

A 県で8番目、比正地
域で3番目に安い。

議案第8号

活き活きふれあい
プラザ設置及び管
理条例の一部改正

活き活きふれあいプラザ
の利便性の向上を図るた
め

Q 内容は

A 利用状況に合わせて
の時間の変更となる。

変更後…土・日・月

10～17時

水・木・金

10～18時

議案第11号

緑と清流・オオム
ラサキが舞う嵐山
町ストップ温暖化
条例の廃止

京都議定書の約束期間が
終了し、嵐山町において
ゼロカーボンシティを宣
言したことに伴うもの。

議案第25号

土地取得について
(嵐山溪谷観光多目
的広場)

嵐山溪谷観光多目的広場
用地の取得のため。

場所…大字鎌形地内
面積…6337㎡

取得価格…1167万円
契約の相手先…5名



多目的広場拡張予定図

議案第26号
工事請負契約の変更について（町道菅谷31号線雨水管整備工事）

町道菅谷31号線雨水管整備工事の施工に關し、変更契約を締結するもの
変更後総請負契約金額
1億3333万1千円

議案第27号
工事請負契約の変更について（R3道路改築工事（町道菅谷31号線））

R3道路改築工事（町道菅谷31号線）の施工に關し、変更契約を締結するもの。

変更後総請負契約金額
8893万円

議案第28号
工事請負契約の変更について（町道菅谷31号線大屋根・シェルター新築工事）

町道菅谷31号線 大屋根・シェルター新築工事の施工に關し、変更契約を締結するもの
変更後総請負契約金額
1億3829万円



駅西口工事の様子＝R6.4.4

諮問第1号
人権擁護委員の推薦について

久保 清氏きよ（新任）

陳情審査（陳情第1号）
学校再編に関する議会調査特別委員会（仮称）設置を求める陳情
提出者
嵐山町の教育を考える会
共同代表 西野護氏・加藤幹雄氏

採択すべきもの

附帯意見…基本計画を尊重して建設的な特別委員会の設置

請願審査（請願第1号）
脱炭素と再生可能エネルギーへの転換の加速を国に求める意見書の提出を求める請願
提出者
生活クラブ生活共同組合
比企支部代表 野原智子氏

不採択とすべきもの

議案番号	議員提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議結果	佐藤弘美	竹内隆哲	橋本将	宮本大裕	狩守勝義	小林智	藤野和美	吉本秀二	青柳賢治	畠山美幸	川口浩史	渋谷登美子	森一人
請願第1号	脱炭素と再生可能エネルギーへの転換の加速を国に求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	●	×	●	×	×	×	●	●	
陳情第1号	学校再編に関する議会調査特別委員会（仮称）設置を求める陳情	採択（附帯意見有）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	退席	●	
発議第1号	母乳代用品のマーケティングに関する国際標準の法制化を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	●	●	
発議第2号	非平時にかかる地方自治法の改正は地方自治の本旨を守ることを求める意見書の提出について	否決	×	●	×	×	×	×	●	×	×	×	●	●	議長
発議第3号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出について	否決	×	×	●	×	×	×	●	×	×	×	●	●	
発議第4号	企業・団体献金の全面禁止を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	●	●	
発議第5号	大阪・関西万博を中止し、能登半島地震の復旧復興に注力することを求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	●	●	

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します（「裁」と記載）。

第1回定例会 町長提出議案審議結果

賛否はこちらで
確認できます



予
算

議
案

政
務
活
動
費
察

一
般
質
問

委
員
会
報
告

議
会
報
告
会
意
見
交
換
会

議案 番号	賛否の分かれた町長提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議 結果	佐藤 弘美	竹内 隆哲	橋本 将	宮本 大裕	狛守 勝義	小林 智	藤野 和美	吉本 秀二	青柳 賢治	畠山 美幸	川口 浩史	渋谷 登美子	森 一人
諮問 第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第1号	嵐山町個人情報の保護に関する法律施行条例等の施行に伴う関係条 例の整理に関する条例を制定することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第2号	嵐山町一時保育事業手数料条例を制定することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第3号	嵐山町職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正することにつ いて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第4号	嵐山町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正す ることについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第5号	嵐山町事務手数料条例の一部を改正することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第6号	嵐山町健康増進センター設置及び管理条例の一部を改正することに ついて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第7号	嵐山町介護保険条例の一部を改正することについて	可決	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	×	●	
議案 第8号	嵐山町活き活きふれあいプラザ設置及び管理条例の一部を改正する ことについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第9号	嵐山町給水条例の一部を改正することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第10号	嵐山町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道 技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第11号	緑と清流・オオムラサキが舞う嵐山町ストップ温暖化条例を廃止す ることについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第12号	令和5年度嵐山町一般会計補正予算（第8号）議定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	
議案 第13号	令和5年度嵐山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）議定に ついて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第14号	令和5年度嵐山町水道事業会計補正予算（第4号）議定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第15号	令和5年度嵐山町下水道事業会計補正予算（第3号）議定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第16号	令和6年度嵐山町一般会計予算議定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	
議案 第17号	令和6年度嵐山町国民健康保険特別会計予算議定について	認定	●	●	×	●	●	●	×	●	●	●	×	×	
議案 第18号	令和6年度嵐山町後期高齢者医療特別会計予算議定について	認定	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	×	●	
議案 第19号	令和6年度嵐山町介護保険特別会計予算議定について	認定	●	●	×	●	●	●	×	●	●	●	×	×	
議案 第20号	令和6年度嵐山町水道事業会計予算議定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第21号	令和6年度嵐山町下水道事業会計予算議定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第22号	小川地区衛生組合の規約変更について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第23号	町道路線を廃止することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第24号	町道路線を認定することについて	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第25号	土地の取得について（嵐山溪谷観光多目的広場）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議案 第26号	工事請負契約の変更について（町道菅谷31号線雨水管整備工事）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	
議案 第27号	工事請負契約の変更について（R3道路改築工事（町道菅谷31号線））	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	
議案 第28号	工事請負契約の変更について（町道菅谷31号線大屋根・シェルタ ー新築工事）	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します（「裁」と記載）。

視 察（他市町村からの受入れ）



愛媛県内子町（1月23日）

議長、議会運営委員長対応

- ・政務活動費について
- ・議会運営に関する申し合わせ事項について
- ・議会改革について

長野県御代田町（1月31日）

正副議長、広報広聴委員長対応

- ・議案の事前説明について
- ・議会日程について
- ・議会モニター制度について
- ・活き活きふれあいプラザ やすらぎ（現地視察）



京都府久御山町（2月7日）

地域支援課、議長対応

- ・防災全般について

政務活動費

議員の調査研究のための必要経費として、議員あるいは会派に対して交付する金銭のこと

◆交付額 議員一人当たり月額：2,500円

（令和5年4月～10月）

会派、議員名	収入額	支出額	町返還額
政友会：小林 智、狛守勝義、大野敏行、 畠山美幸、長島邦夫、青柳賢治、 松本美子、	122,500円	78,694円	43,806円
日本共産党：藤野和美、川口浩史	35,000円	0円	35,000円
渋谷 登美子	17,500円	20,502円	0円
森 一人	17,500円	0円	17,500円

（令和5年11月～令和6年3月）

会派、議員名	収入額	支出額	町返還額
政友会：佐藤弘美、宮本大裕、狛守勝義、 小林 智、吉本秀二、青柳賢治、 畠山美幸	87,500円	89,488円	0円
日本共産党：藤野和美、川口浩史	25,000円	3,518円	21,482円
竹内 隆哲	12,500円	0円	12,500円
橋本 将	12,500円	4,929円	7,571円
渋谷 登美子	12,500円	13,080円	0円
森 一人	12,500円	0円	12,500円

10人が町政を問う

一 般 質 問

一般質問の動画配信を始めました。各議員の写真下の**二次元コード**をスキャンするか、**「YouTube嵐山町議会」**から検索してご覧ください。

学校再編



宮本 大裕 議員



問 各学校で保護者説明会の実施は、

教 4月以降に実施を考えている。

問 子どもの声を聞く考えは。

教 こども基本法の理念に沿って、統合準備委員会でも、子どもの声をしっかり反映させたい。

問 プロジェクトチームの跡地利用計画は。

総 学校再編の予算が通れば、間違いなく住民の意見をいただく。

防災倉庫

問 防災倉庫資機材の写真リスト作成と資機材を使った訓練の実施を。

地 是非活用したい。防災会の会議で提案し、消防団・防災会・町の共同訓練を強く求める。

AED

問 AEDの無い地域と町内コンビニへの設置を。

町長 人の生死に関わる問題であり、改めて検討し、設置に努める。

①嵐山町
AED
マップ



②日本全国
AED
マップ



千年の苑 稼ぐ観光農業とは



橋本 将 議員



問 稼ぐ観光農業としての達成度は。

企 町内の農業者、商工業者への「稼げる場」の提供という視点では出店者にとって有益であった。町の地域活性化に貢献して「稼ぐ観光農業」としての達成度は高いと考えている。

問 令和6年度の来場者数と売上げ目標は。

企 目標来場者数は4万人。売上げは令和5年度と同じ客単価を目標としている。

問 開園時間を18時までとすれば町内の小学生が平日来場できる。目当てが模擬店になるかもしれないが、まずは千年の苑を知ってもらう事が重要だと思うが。

企 重要な視点と捉えているが、スタッフの確保が難しい。

問 千年の苑で農林61号を栽培しているが、夏に収穫祭が開催できるのではないか。

農 水稲地に適した場所に嵐山営農が3ha作付けている。

企 駐車場の拡張を予定しており、イベントの企画もある。



公園管理

問 町の管理状況は。

ま 町管理の公園(37)はシルバー人材センターへ委託、児童遊園地(22)は各区が管理している。

問 公園の緑を活かし、フイトンチッドの効果で町民の健康促進を。

町長 市街化区域の公園は、災害時の救助活動を妨げない樹木の管理が大事。嵐山溪谷・杉山城跡・菅谷館跡等では、フイトンチッドを十分活用できる。



むさし台・新田沼公園

嵐山町まもり隊

問 まもり隊の拡充と情報共有を。

地 新たな段階にある。旧体制は維持し、新体制を推進する。

問 まもり隊の活動範囲を広げては。

町長 公園を管理するグループが増えれば、いい体制ができる。率先して活動する議員に期待する。

③ 林野庁

フイトンチッドの効果一例

④ 「嵐山町まもり隊」

一緒に嵐山町を守りましょう！



(単位：円)

R6年度取組（予定）	
・町民向け割引	
・駐車場340台に拡大	
・軽トラ市（野菜販売）	
・グルメフェス開催	
・補助金	14,758,000円



ラベンダー園ロコミ

R5年度千年の苑収支		
収	入	29,888,260
支	出	26,603,502
収	支	3,284,758
出	店者売上	11,860,000
補	助 金	18,100,000
入	場 者	32,740人

問 菅谷館や嵐山溪谷と違い歴史が浅い。町民に愛されるかが成功のカギと思う。

企 事業全体で町への経済効果を高め、シビックプライドの醸成に取組んでいきたい。

町長 補助金の額は減っている。事業として次の段階に入っている。

問 がんばれ千年の苑。というロコミを見ました。どう受け止めるか。

企 魅力的な千年の苑になるよう益々努力していく。



竹内 隆哲 議員



起業支援の取り組みについて

問 開業される方に対しての支援策は。

企 現在、実施している開業される方への支援は、大きく分けて3つ。1つ目は、嵐山町商工会が主催する「らんざん創業塾」の開催。例年10月に実施しており、中小企業診断士等の有識者を講師に招き、起業に必要な「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」についての知識を身に付けて頂くものである。2つ目は、小川町と共同で10月に表施している起業創業セミナー。3つ目は、町補助金を原資とした嵐山町商工会地域商業活力創出推進委員会が交付する嵐山町空き店舗等活用事業費補助金について、創業者に対して改修費補助と家賃補助の選択肢を設けているものである。他にも嵐山町商工会におい



伏守 勝義 議員



「こどもまんなか社会」について

問 「こどもまんなか社会」の実現は、佐久間町政の「人が宝のまちづくり」に通じるものがある。町長の見解は。

町長 「人が宝のまちづくり」の意味するところは、人は国づくり、町づくりにとって最も大切であり、当然子どもも含まれる。「こどもまんなか社会」実現に向けてこども政策を策定・推進することは、「人が宝のまちづくり」に通ずるものである。また、「人が宝のまちづくり」には嵐山町に住まう人、関わる全ての人々が「宝」と思われるような素晴らしい人材になって頂きたい。」という願いも込められている。

問 「こどもまんなか宣言」と「こどもまんなか応援サポーター就任宣言」について、町の考えは。

福 埼玉県下では、県や複数の市が宣言している。引き続き子育て施策を展開していくことが重要なので、宣言については前向きに検討していく。



渋谷登美子 議員



学校給食を有機食材に

問 学校給食での嵐山町農産物の比率は。

教 令和4年度実績で米100%、野菜30・2%になる。

問 有機農業者とその連携についての把握は。

農 若い農業者10数名に声がけし、座談会を行った。座談会をきっかけに若い就農者の情報交換ラインができ、有機農家の実態把握ができるようになった。12名中、7名が有機農業者であり、認定農業者は2名。認定農業者の生産量は合計で1万105kgであり、将来的には経営規模拡大の目票がある。

問 月に1度米飯を有機米に変更することは。

教 米飯は4力月前に申請し学校給食会が農協経由で玄米を確保し、精米し炊飯している。特別な持ち込みは事前に学校給食会との協議が必要である。単発の持ち込み米の受け入れはできない。

て個別の相談に対応するなどの支援を実施している。

問 高齢化や人手不足で、事業を撤退せざるをえない事業主の相談窓口や経営や事業継承等に悩む事業主の窓口はあるか。

企 主に商工会が窓口となり、事業承継や事業再構築といった相談を会員・非会員問わず受けている。また、事業者が経営課題を見つめ直すきっかけ作りとして、事業計画や経営革新計画の策定支援も行っている。



商工会青年部嵐山まつり=R5.11.5

問 日本財団の調査によると、「こども基本法」について60%以上の子どもが「聞いたことがない」と回答、子どもたちに認知されていない状況が伺える。町の状況は。

福 町では認知度に関しての調査は実施していないが、日本財団の調査と同程度と思われる。「こども計画」策定にあたり、子どもの意見を聞き取ることになっているため、アンケート調査の中で周知も図っていく。

問 不登校児童生徒数が増加している現状、「子ども家庭支援センター」は重要な役割を担っている。今後の運営方針は。

福 引き続き不登校児童生徒支援を実施していく。



出典：子ども家庭庁HP

問 年次計画をつくり有機給食を進める試みは。

教 学校給食に使用する野菜は、嵐山農産物直売所の出荷計画書の範囲内で発注し、不足分は契約業者に納品してもらっている。有機野菜の生産量が間に合わない、学校給食の提供に大きな影響がある。また、限られた予算で食材を購入しているため、価格が通常より高いと他の食材購入に影響が出る。有機米、野菜の安定供給と価格の課題を解決する必要がある。



嵐山町産のお米のご飯・給食、おいしい=R6.3.13



畠山 美幸 議員



災害対策について

問 水道管の耐震化状況は。また、災害時、他自治体との連携は

水 基幹管路の耐震率は36・4%。大規模自然災害発生時には、水道は日本水道協会、下水は日本下水道協会・事業団全体で被災のない支部から直ちに被災支部支援を行う体制が確立している。

問 耐震管入れ替えのタイミングは

水 令和4年度から10年間の管路更新計画に基づき、毎年度年間1キロメートルを目標に随時入れ替えを行っている。

問 井戸水の協力体制は

地 平成27年の調査により、災害時に町民へ提供しても良いと回答のあった178本の井戸を災害時協力井戸として登録している。

問 携帯トイレの備蓄は

地 自動ラップ式トイレ11セット、簡易組立トイレ62台、マンホールトイレ12セット。



青柳 賢治 議員



国立女性教育会館の撤去、機能移転検討のその後について

問 いったん踏みとどまったように聞いたが今は。

町長 12月25日に国で開催された男女共同参画会議においては、事務所移転、施設の譲渡又は撤去というような文言は資料から削除されていたとの報告を受けている。1月19日、国からの要請で再度、国、県、会館、及び町の4者協議の場がもたれた。国及び会館からは現状の様な形での存続は難しいこと、町からは、今まで通り嵐山町において機能強化を図っていたきたい、県からは施設が現状通り嵐山町に存置されることが前提での議論だったのではということとで、それぞれの意見の歩みよりはなかった。ただ、国から冒頭「今後、二者にとつてどういう形がよいのか話し合っていきたい、もう決めたということではなく、ここからがスタートと考えている」との発言があり、嵐山町に対する姿



小林 智 議員



第2次都市計画マスタープランの取組みの状況について

問 地域別構想のうち北部地域の取組みの状況は。

ま 分野別構想のうち「土地利用」において、北部地域に関するものでは、産業地として花見台工業団地、田園地域、自然保全地域の土地利用について考え方を示しているほか、土地活性エリアも県道沿い等に定めている。現状では花見台工業団地拡張地区の整備を進めているほか、農業による交流・観光等の取組として比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システムが日本農業遺産に認定されたが、土地利用活性エリアを活用した事例はない。

問 「コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくり」のネットワークとは。また町外を含めた広域の考え方はあるか。



トイレトレーラー

- 問** トイレトレーラーの考えは
- 地** 1台2000〜2500万円と高額であること、また移動にけん引免許を要することから、導入のハードルは高い。他の用途で年間を通した利用が見込めれば、ハードルが一気に下がる。
- 問** 大雨警報発令時の乗用車の退避場所について
- 地** ウエルシア嵐山東口店と交渉中。190台の駐車場を完備しており、了承いただければ大きな前進となる。その他、知識の森嵐山町立図書館(32台)から了解を得ている。
- 問** 常備薬の提供体制はどの様に行うか
- 地** 比企医師会・東松山薬剤師会・小川薬剤師会・比企郡市歯科医師会とそれぞれ災害協定を締結しており、協定に基づいて必要な支援を要請する。

緊急遮断弁が設置されている



第2配水池



第3配水池

提供：上下水道課

- 勢に変化が現れたことを感じた。今後は地域支援課を担当課とし、三者の隔たりをなくしていくべき交渉を重ねる。
- 能登半島地震から嵐山町の防災を考える**
- 問** 災害対策本部の訓練は。
- 地** 震度4以上の地震や台風の接近時、また先月の大雪時には災害対策本部員である町長、副町長、教育長及び各課局長が参集し連絡会議を開催している。各課の対応などを協議するこの連絡会議が訓練を兼ねていると考える。
- 問** 水の確保や井戸の把握は
- 水** タンクが水がめとなり3、4カ月持つ。
- 地** 平成27年に井戸の再調査により178本の井戸を災害時協力井戸として登録している。



花見台拡張工事=R6.3.23

ま 多くの自治体では住居系の市街化区域が複数ある場合が一般的で、その区域間を結び持続可能なネットワーク(交通網)で結ぶことが必要であるが、嵐山町には、住居系市街化区域は一つしかなく、作成中の立地適正化計画では現状の課題を把握し、一定の方針を作成していく。広域的な考え方もあるが、東松山市、小川町ではすでに立地適正化計画を作成済み、嵐山町では町域内のみの計画を策定する予定。



川口 浩史 議員



水道の耐震管、避難所までは優先的に

問 大規模災害時、何人が避難できるのか。

地 1565人である。

問 大規模災害時にこの程度の人数で済むという根拠は。

地 耐震済みの建物が増えてきているからと考える。

問 プライバシーは確保されるのか。

地 200張のパーテーションを用意している。配慮が必要な方のために使用したい。

問 ペットの受け入れ態勢は

地 発災当初は避難所施設の外で、その後、避難者数が減少すれば施設内で飼えるようにしている。

問 水道の耐震管は、避難所まで優先的に整備するべきではないか。

水 玉ノ岡中学校までは完了。他も優先的に進める。

学校統合は教育環境の悪化になるのでは



藤野 和美 議員



健康ウォーキングについて

問 取り組みの現状は。

健 令和6年度より「コバトンALKOOMYレージ事業」が始まる。試行的に開始されているので、周知等に努めている。

問 北部交流センター（写真）を起点としたウォーキングコースを作る考えは。

健 今のところ予定はない。

自然が豊かでインターチェンジも近くにある。生かしていくべきでは。

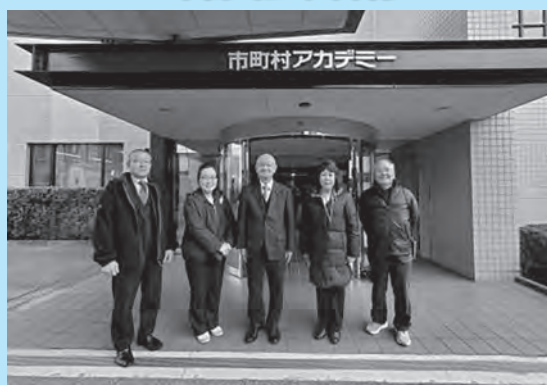
副町長 北部に拠点をつくっていく課題として検討していきたい。

都市部との交流事業促進は

問 現状と今後の取り組みは。

農 農事組合法人の「農業体験プログラム・お米づくり体験」に、令和5年度は、都内から4組18名の参加があった。今後取り組み

政友会研修



1月9～10日、市町村アカデミー（千葉市）において開催された市町村議会議員特別セミナーに7名の議員が参加しました。

議員研修会



1月25日、フレサよしみ（吉見町）において開催された比企郡町村議会議員研修会に12名の議員が参加しました。

問 学校統合になれば、小学校13人、中学校3人の教師が少なくなる。教育環境の悪化になるのではないか。

教育長 統合すれば1学級の人数は増えるが、少人数指導も実施してゆくの、教育環境の悪化にはならない。

問 基本計画説明会は、写真撮影や録音を禁じた。しかし、テレビのニュースでは住民説明会での質問者の映像、音声を送信されている。このことから、社会通念上、録音を禁ずることはないのではないか。

教育長 発言しやすい環境が大事と考える。



石川県七尾市避難所の様子（災害派遣された本町職員の撮影）

むつえでのモデル的な事業と考える。

問 群馬県の川場村では、世田谷区と提携して大きな成果をあげている。町でも検討する考えは。

農 平成30年から板橋区とラベンダーの苗の植え付けなどで交流があるので、他の課の協力も得て取り組んで行きたい。

問 子どもたちの交流は。

教育長 以前から民間団体を通じての田植え体験や中学生の遠足などもあった。教育委員会同士の連携が大事と思い教育長と話し合った。

問 農業体験や自然体験の受け皿作りが必要であり、それが地域の活性化にもつながる。北部交流センターを農村交流施設として拠点展開する考えは。

町長 板橋区と強い関係を築いていきながら展望していければと考える。



北部交流センター

小川地区衛生組合議会

2月19日（月）令和6年第1回定例会が小川町議会場にて開会され、提出された議案5件は原案通り可決されました。

●議案第4号 令和5年度小川地区衛生組合一般会補正予算（第3号）

歳入歳出総額 17億2614万円
（△1269万円）

繰越明許費
・こみ焼却場地内歴調査業務委託 313万円
・こみ焼却場解体アスベスト調査委託 863万円

●議案第5号 令和6年度小川地区衛生組合一般会計予算

歳入歳出総額 16億1062万円
嵐山町の負担金は、し尿処理費負担金4639万円、塵芥処理費負担金2億3256万円（前年より234万円の増額）

比企広域市町村圏組合議会

2月8日（木）令和6年第1回定例会が東松山市議会議場にて開会され、提出された議案12件は原案通り可決されました。

●埼玉西部地域消防指令センターの運用開始

埼玉西部、坂戸鶴ヶ島、比企広域、西入間の各消防（同）本部による「119番」の共同受付はすべての準備が整い、1月24日から受付を開始した。
名称…埼玉西部地域消防指令センター
場所…飯能市大字小久保291番地 飯能日高消防署4階

●一般質問

問 消防団に加入しても、中型免許がないため消防車を運転できないことがある。免許取得の補助の考えは

答 各市町村の役割と考えているが、検討させていただきます。

総務経済常任委員会

(1月11日・26日・2月14日)

- 未来に向けた町民意見取り入れの仕組みづくりについて
- 地域交通のあり方について
- 地域産業の活性化への取り組みについて

未来に向けた町民意見取り入れの仕組みづくりについて

● 地域支援課・農政課ヒアリング

「若者会議」という言葉にこだわらず、未来を意識した意見の取り組みを町政に反映させるにはどうしたら良いか、をテーマとした。

提言に向けた委員間討議

● 地域支援課・長寿生きがい課ヒアリング

タフシー券配布の課題、特に農村部の孤立などのほか、福祉の分野に限らず不便な地域など幅広く地域交通について考えていく。それに合わせて調査研究していく方向とし、担当課よりヒアリングを行った。

地域産業の活性化への取り組みについて

● Ropa、駅西口周辺視察

企業支援課と商工会等での起業者の育成・就業支援について、他のテーマの進捗を見て、進めていくこととした。

駅西口通りにある空き家をリンベーションし、人の集まる場所・拠点づくりとして昨年オープンしたRopaにて、起業された方を交えて「未来に向けた町民意見取り入れの仕組みづくり」、「地域産業の活性化への取り組み」について意見交換を行った。



コーヒーレンタルスペース Ropa = R6.2.14

文教厚生常任委員会

(1月11日・18日・2月7日)

- 子どもの権利について
- 外国人の増加に伴う諸課題

子どもの権利について

● 今後の進め方について

・各委員が同等の水準になるよう勉強が必要との認識で一致。子ども基本法、こども大綱資料及び動画視聴による学習を行った。

● 主な意見

- ・子どもの権利をどこにフォーカスするかを決める方が先ではないか。
- ・子どもの意見表明の場を子ども議会にしてはどうか。

外国人の増加に伴う諸課題

● 町民課・環境課ヒアリング

町民課より、外国人の居住実態、在留外国人28力国675人が登録(R6年1月現在)。転入手続きでは企業の付添いがある場合、説明をしてもらうこともある等との説

明を受けた。

環境課より、外国人への生活ごみの指導状況等について説明を受けた。

● 主な意見

・生活ごみ等の課題解決に向けて、外国人とのコミュニケーションが重要との意見で一致した。

● 嵐山国際交流協会ヒアリング

同協会は日本人ボランティアを会員登録し、在留外国人に対し日本語教室を開室している他、外国人の困りごと相談等にも対応している。

また、新年会、花見、日帰り旅行、嵐山まつりなどの交流活動を行っている等との説明を受けた。



嵐山国際交流協会 コロナ以前のお花見の様子

～開かれた議会の実現をめざして～

第23回 議会報告会・意見交換会を開催！

1月13日（土）に議会報告会及び意見交換会を開催しました。
19人（午前10人、午後9人）の町民の方にご参加いただき、テーマについて活発な意見交換の場となりました。
※報告書は町ホームページに掲載
(右の二次元コードからご覧になれます)



ご参加ありがとうございました。
いただいた貴重なご意見等は今後の活動にいかしてまいります。

意見交換会での主な意見（テーマ：新しい議会に何を求めますか）

議員活動について

- 20～30年後の町のビジョンを持ち、核の部分は全議員で共有してほしい。
- 議員のいない地域も多い。町全体を網羅するような議会運営をしてほしい。
- 声なき声＝若い人の意見はどう考えているのか。
- 風通しの良い議会を目指してほしい。
- 議員紹介の資料は良いと思う。趣味や特技も掲載してほしい。
- 議員を長く経験している方も多い。成功に向けて努めているだろうが、失敗した時でも皆が力を合わせてやっていただければと思う。
- 先進地視察をして取り入れるものをつかんで、力を合わせて進めてほしい。
- 町議会は国民の意見を反映させる一番身近なものだと思っている。
- 町議員の中で野党与党は関係ない。考えはそれぞれあると思うが、方向性を一致して進めるべき。
- 施設の移転等、町の変化にアンテナをはってほしい。
- 町をどういう方向にしていくかという気持ちを持って議員活動をしてほしい。町の財政を捉え、プランを持って議会運営や町へ一般質問をしてほしい。
- 全国的な問題にもなっているが、今回の無投票選挙をどう考えるか。
- ホームページに掲載するだけでは高齢者は分からない。周知をどうしていくか、行政と両輪で考えてもらいたい。
- 嵐丸庵にぜひ足を運んでもらいたい。高齢者の居場所づくりを盛り上げてほしい。
- 町が飛躍できる目玉を議会で提案してほしい。
- 残念な一般質問がある。行政側に寄りすぎている質問、その場で聞いて要望して終わってしまう質問、通告書をなぞるだけの自己完結・自己主張だけの質問。事前に調査して質す、相手に切り込んだ一般質問を目指してほしい。

他に、学校再編や校舎の老朽化、地域交通、国立女性教育会館移転、農業、駅前整備など様々なご意見をいただきました。

議会では対応すべきご意見・ご要望は、議員各自しっかりと受け止め、所管委員会で検討します。町で対応すべきご意見・ご要望は執行部へ依頼しました。



桜 なぜ人はこんなにもこの花に魅了されるのだろうか。まだかまだかと待ちながら、鮮やかな時は瞬く間に過ぎて行く。与えられた時間は短くとも、多くの人を和ませる人でありたい。この花の様に。 嵐山の桜、綺麗ですね。 写真提供：内田泰永氏（動画の一部）

今回の定例会は 6月 4日(火)開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしております。
 請願・陳情は 5月27日(月)午後5時までに提出してください。

～開かれた議会の実現をめざして～ 第24回 議会報告会・意見交換会

日 時：5月18日（土）13時30分～（13時～受付）

議会報告 13時30分～13時50分

意見交換 14時～15時45分（休憩含）

場 所：町民ホール（申込不要）

テーマ：「防災対策」「豊かな老後とは?!」

途中でテーマを入れ替え、両テーマについて意見交換を行います。



ご参加
お待ちしております

◆発熱等風邪症状がある場合、入場お断りさせていただく場合があります。

◆託児を希望される場合、5月13日(月)までに議会事務局（☎62-4587）へお申し込みください。

編集後記

3月議会において「緑と清流・オムラサキが舞う嵐山町ストップ温暖化条例」を全会一致で廃止した。これは執行部側の条例を文教厚生常任委員会が1年半の調査のもと2011年につくったものだ。執行部側の条例を議員がつくることは全国的にみてもそうはない。進んだ事例としてあげられると思うし、自負もある。これを廃止したのである。私も賛成で。

（川口）